



# Mitsui V-Net

## Mitsui Volunteer Network Center

### 三井ボランティアネットワーク事業団

ニュースレター Vol.53

2015年1月1日発行

## 新春のご挨拶

三井ボランティアネットワーク事業団  
理事長 團野 耕一

あけましておめでとうございます。

前理事長よりバトンを受けてから早いもので二年目を迎えました。

本事業団も、わが国の少子化・高齢化が著しく進捗し、未曾有の高齢社会を迎える時代に、日本社会が活力を保ち続け、国民生活を維持・向上させていくためには、高齢者が社会活動に積極的に参加し、活躍できる環境を創り出すことが急務との認識に基づき、平成8年に創設されて以来19年目を迎えました。

「シニアの生き甲斐づくり支援」・「三井グループの社会貢献活動」を目指し、三井グループ運営会員各社（現行25社）のOBを中心としたボランティア登録会員は、ニュースレターの定期発行及びホームページの全面改良等によって1400名を超え前年比大幅に増加しています。また、ボランティア活動人数においても年々活発となり、①国際交流、②環境保全、③医療・福祉、④文化・教育の4分野において、延べ9400名の方がさまざまなボランティア活動を行っています。

東京本部では、国際交流、医療・福祉分野に部会が設立され、各部会の代表である世話人を中心に一対一交流の他に様々な行事が企画され活動が活発に行われています。

また、昨年は環境保全分野において国交省より荒川河川清掃の永年表彰をいただきました。

関西支部では、国際交流分野で神戸大学留学生交流会が長期にわたり開催され昨年で11回目を迎えました。また関西サロンは3年目を迎え、会員同士の情報・意見交換が行われています。

中国支部では、「環境美化永年活動5年表彰」を受賞した平和記念公園の清掃活動を中心

に活動を行っています。

今後ともボランティア活動の内容の向上及び活動頻度アップに努め、三井V-Netの将来への発展並びに三井グループの社会貢献活動の一端を担い三井ブランドの向上を目指し努力してまいります。

具体的な取り組みにつきましては、①三井V-Net運営体制の見直し②新規ボランティア登録会員の拡大③運営会員会社の拡大があります。

まず、三井V-Net運営体制の見直しにつきましては、昨年常任運営委員会、運営委員会で見直し案を検討し平成29年度より会費の値上げを決議し、正式な理事会決議は平成28年度になりますが理事会で報告させていただきました。

次にボランティア登録会員の拡大ですが、ホームページの改良等により会員数は年々増加しております。現役ならびに60歳台の会員の加入により若返りは徐々に図られつつありますが、高齢化が進んでいる活動もあり60歳台の会員獲得が課題となっています。

運営会員会社の拡大につきましては、昨年度太平洋セメント、三井住友建設の2社が復会され25社となりました。更に会員会社を増やすために、二木会・月曜会メンバー会社の未加入会社及び休会会社への新規加入あるいは再加入の勧誘対策に取り組んでまいります。

本事業団としては、本年も充実したボランティア活動を展開してまいりたいと思います。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



## 横浜国大での“試み講義”の思い出

岡本 靖彦（三井物産OB）

三井V-Netの横浜国大部会の活動の日玉の一つが2004年に開設された講座「日本の企業システム」です。横浜国大留学生センターから、日本語が出来る留学生向けの“日本の主要産業の実態に関する講座”開設について協力依頼を受けたのが2003年の秋。就いては、試しに2004年3月に90分間の授業を実施してもらえないかとのことで、小生がサンプル講師役を引き受けた次第。大学側の要請で、日本語と英語のレジメを準備し、国内外でのビジネス体験に基づき日本経済と産業構造の特質について講義を行いました。聴講生は20名位でしたが、教室の後方には試験官よろしく偉い先生方がズラリと席を占めて居られる中での講義は、他大学での講義や社会人向け講演で演壇に立つのは慣れていとは言え、心臓は高鳴り正に冷や汗ものでした。

米国大統領と面会時に“How are you?”と言うべきところ”Who are you?”と言ってしまった日本の有名政治家の話や1ドル360円時代に15セントと50セントを聞き間違えてあわや大損をするところであった己の失敗談などを披露して、留学生諸君の日本語は日本人の英語能力を遙かに凌駕していると誉め上げ、彼らの関心と笑いを誘いながら何とかそれなりの講義を終えたものです。お陰様で試験官たる先生方からは“とても面白かった”との評を賜り、講座開設の了承を得ました。責任の一端を果たすことが出来てホッとしたことを懐かしく想起して居ります。

2004年4月からオムニバス形式の「日本の企業システム」の講座が正式にスタート。2005年から単位取得対象講座に格上げされ、今や留学生のみならず日本人学生の聴講生も増加し人気講座



になって居り、講義は定員100名位の中教室で行われています。講師は横浜国大部会のメンバーが主体となり、夫々の出身産業（金融・保険・商社・電機・自動車・金属・ITなど）について各自の国内外での実体験と最新資料に基づいて講義が行われているためか、学説や理論とは異なる視点からビジネスの実状を理解することが可能なので、それが学生の魅力になっている模様です。10年を経過した「三井V-Net講座」とも称すべき本講座が末永く継続されることを願っています。

## 10月11日 留学生の日 博物館ツアーレポート

辻本 敦子（商船三井OG）

大型台風18号と19号の狭間の10月11日（土）秋晴れの中、東京上野にある国立博物館へ30名近い千葉大留学生&7人のボランティアの方と共に行ってきました。

ボランティア一人に留学生5～8名くらいのグループにわかれまして。電車の中から日本の生活の様子、学生生活、お国の話など盛り上がり、アツという間に上野に到着しました。

当日は「留学生の日」で国立博物館は留学生に無料開放しているため、いつもの静かな様相と違って、留学生と付き添いの日本人であふれていました。チケットを購入の際に多少手間取りましたが、無事入館しました。

グループ毎にわかれて、お昼までの2時間弱本館を見学しました。日本人といっても、美術、歴史にあまり詳しくない私に何が出来るか？と思いましたが、ところどころにボランティアガイドの方がいたし、日本語の説明を読みながら、少ない知識でなんとか対応しました。学生たちも日本を留学先に選択しただけあって、日本の歴史、美術、習慣、文化に興味が高く、熱心に写真を撮ったり、じっくり眺めたりしていました。

12時過ぎたのでランチタイム。外のベンチに座り、各自コンビニなどで調達したランチを食べながら、晴れ渡った秋空の下、おしゃべりに



花が咲きました。「今日は美術館のあとに、秋葉原へ行くぞ！」とか、「成田の花火大会が楽し

みり」とかそれぞれ、このあとの予定も楽しみの様子でした。

午後は、自由行動、自由解散ということになり、私たちのグループは法隆寺宝物館と東洋館を見学しました。法隆寺宝物館はとてもモダンながらも、和を感じる建築で、そこにいてだけで落ち着く感じがしました。

東洋館は3分の1くらいは中国の美術、歴史が紹介されていたので、台湾人グループの学生たちは、自分たちが学生時代習ってきた知識をもとに、面白い話をいろいろと聞かせてくれました。立場が逆なようですが、これも面白い体験でした(笑)。

当日まで「自分にボランティアができるのか?」と不安でしたが、6時間ほど留学生と一緒に過ごし、自分も日本を外から見たり、外国人から見た日本を見聞きしたりする貴重な一日となりました。最後に、みんなで記念撮影をして笑顔で解散しました。

## 東京大学柏キャンパスで留学生向け書道教室開催

宮田 哲 (商船三井OB)

東大柏部会では東大柏キャンパス留学生を対象とする書道教室を以下の通り開催いたしました。

- ・日時：2014年9月29日(月) 10時から12時半
- ・場所：東大柏ロッジ
- ・参加留学生：10名
- ・書道指導：柏市書道協会 吉野会長以下11名
- ・教室運営：東大柏インターナショナルオフィス 2名、三井V-Net会員7名

日頃、東大柏キャンパスの留学生と我々三井ボランティア会員は日本語指導、日本文化・歴史の紹介を中心として留学生一対一交流をしています。その一環として日本文化を紹介するためのイベントを毎年開催しており、毎年生け花教室を開催し



中央が筆者

ていましたが、初めての試みとして柏市書道協会の全面的なご協力を得て書道教室の運びとなりました。当日は同協会染谷副会長より書道についての歴史、書は筆者の人間性や心の状態と深く関係するとの説明のあと、協会所属の先生の方からマンツーマンでの懇切丁寧な指導のもと、留学生の各自好きな漢字を選択し習字が始まりました。はじめは皆、筆の運びにぎこちなさも見られましたが何度も筆を重ねるうちに円滑になり、清書するころには驚くほどの上達ぶりです、それぞれに見事な作品ができあがりました。吉野会長よりもお褒めの言葉がありました。また、書をする時の精神性も重要であることに触れられました。

この後留学生を囲んでの茶話会では、書道の話だけではなくそれぞれ留学生のお国の話などが飛び交い、おおいに盛り上がりました。

留学生の書道教室での体験についての感想は添付にある通りですが、書道に興味を持ってくれたようであり、実技を楽しむ中で少し日本文化の一端にも触れてもらうことができたのではないかと思います。なお、今回の作品は10月24日、25日の東大柏キャンパスの公開日に環境棟エレベーターホールに展示され、多くの方々に留学生の書をご覧いただきました。

### 留学生の感想文 (原文は英語)

#### ① W.Iさん (Indonesia)

書道教室のイベントは私にとって筆と墨を使う最初の経験でした。書道専門家から書道について学ぶ大変良い経験になりました。書道教室では文字を書く技術ばかりでなく書道の歴史についての知識も与えてくれました。先生は我々に一歩ずつ段階を踏みながら懇切丁寧に指導してくれました。このイベントを開催してくれたことに感謝するとともに、他の日本文化の紹介のイベントがあればそれにも参加したいです。

#### ② K.Lさん (Thai)

私は書道教室に参加して大変に楽しかったです。私にとり書道をもっとよく知ることができ大変良い経験になりました。書道教室ではどうやって漢字を書くかばかりでなく書道の歴史についても教えていただきました。書道は文字を書く芸術であること、また書くときには精神を注入することも学びました。最初、私は私の国ではこのように文字を筆で書くということがないので難しく感じましたが、先生から根気よく何度も教えていただき、



またアドバイスもいただいたおかげで良く書けるようになりました。

最終的には書道により私はリラックスでき、心を穏やかに保て、そして楽しめるようになりました。このイベントを開催し私たちに書道をするよい機会を与えてくれた三井V-Netグループ、柏書道協会、東京大学柏インターナショナルオフィス、関係者の皆さんに感謝いたします。

## 2014年 湘南倶楽部の ボランティア活動を振り返って

湘南倶楽部世話人  
石渡戸 征治 (三越OB)

平成26年11月8日土曜日朝6時半、自宅の窓を開けてみる。今年最後のエリザベス・サンダース・ホーム (以下ESH) 園内清掃の日である。曇り空だが雨は降っていない「ああ良かった。実施できる」。毎年1月を皮切りに奇数月の第二土曜日は湘南倶楽部に加入の会員の皆さんを中心に大磯駅前にあるESHの園内清掃を行ってきているが、実施される週は清掃当日まで天気予報とにらめっこで、好天でホッとしたり、雨でがっかりしたりする。

ESHの清掃も2000年(平成12年)8月12日に第一回目の清掃を始めて14年と少々が経過したことになる。雨が降ると清掃は中止していたので、実施回数ではこの11月が69回目、年明けの2015年1月の清掃が70回目という節目の回となる。

湘南倶楽部会員は現在92名だが、清掃には毎回25名前後の会員が参加することに加え、東芝エレベータ神奈川支社の若い現役社員の有志が5~10名参加してくれている。また一番手間のかかる大量のゴミの処分、処理は相模原市に事業所のある(株)旭商会さんが毎回大型トラックをESHまで出してくれ、すべてのゴミを処理いただいている。本当にありがたく感謝している。こうして



左端前列が筆者

14年間清掃活動を続けられたことは、ひとえにこうした多くの皆様に支えられてのことと改めて御礼、感謝申し上げたい。

湘南倶楽部の世話人は私と石塚さん(東芝OB)布野さん(銀行OB)の3名ですが、これからも力を合わせて倶楽部の活動に少しでも貢献できるように頑張りたいと思っている。

2014年の湘南倶楽部の活動を振り返ってみると、

### ① ESH清掃活動

7月は台風の上陸でやむなく中止したが、それ以外の1、3、5、7、11月は予定どおり実施された。

### ② 鎌倉海岸清掃

毎年2回クリーンアップかまくら主催(鎌倉市共催)の海岸清掃に参加。春(5月)・秋(9月)共に天候に恵まれ、鎌倉由比ヶ浜海岸を中心に清掃した。

### ③ 鎌倉の山清掃

2013年秋より実施。鎌倉のハイキングコースを春は桜、秋は紅葉を観ながらの散策と清掃を兼ねての活動。2014春は4月5日に実施、新日本空調の現役の方も一般参加、大変盛況であった。

### ④ ESHチャリティーコンサート

コンサートは11月9日に開催、湘南倶楽部も協賛していることから、お客様を大磯駅から学園正門まで、更に正門から会場までのご案内等を会員が協力している。

## 公園お掃除の話

鈴木 嘉明 (三越OB)



私は昨年80歳になりました。69歳の誕生日(6月7日)を迎えた折に、70歳のハードルを超えるために何をしたらよいかを考えました。私が世田谷区上祖師谷に住居を建築したのは1964年だったので、50年以上在住しています。当時は教育大学(現在は筑波大学)の農学部隣接していましたが、大学が茨城県に移転した後に東京都の公園になったのが、現在の都立祖師谷公園です。面積は89591.25平方メートル(約27千坪余)と可成り広く、都立公園は現在69ヶ所ありますが広いスペースを持っている公



園の一つです。

開園したのは昭和50年6月1日(1975年)です。40年余となり、樹木の成長も目ざましく、想像以上に自然環境が良くなりました。私宅から徒歩2分ですので、毎朝5時半には愛犬の散歩を続けています。その間に気づいたことは、季節の変化と共に樹木の葉が落ち、散逸している状態でした。特に遊歩道は目立っていました。そこで毎朝ラジオ体操をする人々が多くなり、午前6時30分から10分間は好天時には100人以上が集まるようになりました。体操の終了した後は、太極拳体操をするグループが続けて30分位体操をしています。

そこで、きれいな場所で体操をすることは気持ちのいいことではないかと思い、相談する人もいなかったの、ひとりで掃除を始めました。祖師谷公園は広くて静かな環境ですので、愛犬の散歩をする人が多くなりました。早朝5時30分から7時頃までは、前述のラジオ体操と太極拳体操に加えて愛犬の散歩と多くの皆さんと朝のご挨拶「おはようございます」の機会が多いことも特徴の一つだと思っています。年齢的にみると、中高年の女性がほとんどを占めています。

男性が少ないのですが、何も言わずに黙々と歩いている人がほとんどです。

掃除をしていて感じることは、女性は薄化粧をしています。男性は素顔で帽子をかぶっている人が多いと感じています。女性の半数以上「ご苦労様です。きれいにして頂いた処を歩くのは気持ちが良いです」と声をかけてくださいます。私はその都度「ありがとうございます。又明日の朝お目にかかりましょう」と返事をしてはいますが、知らない女性から声をかけられ言葉を交わすことは気分転換にもなり能率が上がるような気持ちになることと、翌朝もご挨拶ができる楽しみを毎日経験しています。見知らぬ女性から声をかけられてご挨拶をすることは、慣れていないとなかなかできないと思いますが、これは現役時代に三越の呉服売場でお客様の女性と毎日会話をしていたことがプラスになっているのかと感じています。公園の掃除で私が感じていることは、成長を続けている樹木や、鳩やカラスなど野生の鳥達の会話、飼い主と散歩をしている大小の犬達への声かけで喜んでシッポを振ってくれる姿など個人的な楽しみが多いことです。雨天は休みますが、毎朝きれいな美味しい空気を吸い、身体を動かして運動し、

整然となった公園を見て満足して帰宅する毎日を今後共続けていきたいと思っています。

雑文ですが、私の生活の一端を記しました。

## 初めての合同医療ボランティア懇談会

医療ボランティア世話人

神崎 星五子

医療ボランティア活動は現在5か所の病院でボランティア活動をおこなっております。各病院ボランティアの方達が一同に会する機会が無い為、10月1日、赤坂事務局会議室にて初めての「合同医療ボランティア懇談会」を開催しました。出席者は医療ボランティア会員12名、事務局長を含め事務局3名の計15名が出席しました。

懇談会のテーマは各病院の情報交換、病院医療部門の日本語英語表記ならびに病院内での英語対応の勉強会等です。

12時~12時45分まではお弁当を食べながら懇談。12時50分頃から各病院の活動報告に基づき情報交換を行いました。報告の中で東大病院のボランティアコーディネーターの存在に出席者皆関心を持ちました。コーディネーターのシステムチックな連絡と手配の下に円滑な活動が行われていることをうかがい知ることが出来、ボランティア受入れ側の能力の高さとボランティアをされている人達の熱心さが伝わりました。

次に病院医療部門の日本語英語表記ならびに病院内での英語対応の勉強会を行い、医療部門の日本語、英語表記の確認と「外来で実践できる英会話」を皆様と一緒に1フレーズずつ唱和し学習しました。最後に集合写真を撮り「来年もまたお会いしましょう」の掛け声で盛会に終了しました。

現在医療ボランティアの人数は22名と大変少ない人数で活動しています。

皆様へ医療ボランティア活動のご案内をし、紙面をお借りして、ご応募をお願いする次第です。

活動病院は日本赤十字医療センター(広尾)、横



前列左端が筆者



浜市立みなと赤十字病院（横浜市中区）、東京大学医学部付属病院（本郷）、三井記念病院（千代田区和泉町）、千葉大学医学部付属病院（千葉市亥鼻）です。

活動内容は外来受付案内、再来受付機と精算機案内、院内案内、院内介助、車椅子介助、アロマティラピー活動、イベント開催手伝い、院内図書室の運営などです。活動日は月2回、月4回等と自由に選べ、好きな時間帯に2時間から3時間行える短時間でシンプルな活動です。

私達は患者さま、病院側から感謝のお言葉を戴き、お仲間はそれぞれの病院の名に恥じない誇りを持ち各病院で活躍しております。ボランティア活動は生活のクオオリティをあげ、同じ志をもつ仲間と一緒に活動することによって社会との絆も深くなって参ります。医療ボランティア現場に参加くださるお仲間を増やし有形無形の何かを受け取れる時間を皆様と共有してまいりたいと思います。ご応募どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 第8回エリザベス・サンダース・ホーム チャリティーコンサート

東京本部事務局



平成26年11月9日、弊事業団主催、湘南倶楽部共催の「第8回エリザベス・サンダース・ホーム チャリティーコンサート」が大磯にて開催されました。

幸いに雨にはならず曇り空の下、皆さんぞくぞくと会場に詰めかけてくれました。

聖ステパノ学園「海に見えるホール」から相模湾を一望する中、司会の高田佳代子さんの開会の案内に続き、事業団の團野理事長よりご来場いただいた皆様への御礼、挨拶の後、昨年に引き続きチャリティーにご賛同いただいたサクソ奏者の小林洋平氏、ピアニストの木原健太郎氏並びに伊藤友馬氏率いる7名のストリングスメンバーを加



えた9名による演奏会はスタートしました。演奏曲は映画音楽、昭和歌謡、童謡、唱歌、演奏者のオリジナル曲と多岐に亘り、特に昨年世界遺産に登録された富士山を題材に小林氏が作曲した「悠久なる時を超えて」、東日本大震災で一本残った松の木を題材に同じく小林氏が作曲した「いちばん大きな空へ “樹がはなしてくれたこと”」の素晴らしい演奏に会場全体が酔いしれました。昨年とは選曲も変えての演奏会で、演奏終了後は拍手が鳴りやまず、アンコール演奏でひときり会場は盛り上がりました。アンコール曲終了後はエリザベス・サンダース・ホームを代表して小学生の生徒2名から、演奏者代表のお二人に花束が贈呈され、その可愛さに会場から大きな拍手が送られました。

観覧に見えていただいた約180名の皆様はその演奏の素晴らしさに加え、会場から見渡せる相模湾、江ノ島等の自然の織り成す景色の美しさにも酔いしれた2時間でした。

皆様にお買い上げいただいたチケット代の中から、その収益金をエリザベス・サンダース・ホームへの寄付金として、事業団の山崎事務局長よりエリザベス・サンダース・ホーム小川正夫理事長に手渡した後、小川理事長からは来場の皆様に協力いただいたことへの謝意が丁寧に述べられ、演奏会は無事終了しました。

コンサート鑑賞に見えていただきました皆様、そして演奏者の皆様、聖ステパノ学園の学校職員の皆様、ポスター、プログラム等の印刷をボランティアで引き受けていただいた(株)新和様、司会、案内等でご協力いただいたボランティア会員の皆様々に厚く御礼申し上げます。



## 関西支部（大阪）

### 神戸大学で第11回 三井V-Net留学生交流会開催

関西支部事務局



2014年11月12日(水) 神戸大学留学センターで、留学生、ボランティア、大学の先生方、三井V-Netが集まり、留学生交流会を開催しました。

神戸大学と三井V-Netの留学生一対一交流は、2002年12月の三井V-Net関西支部開設と同時に開始され、延べ約100名の留学生と交流しており、現在、留学生とボランティア17組が交流を継続しています。

この交流会は、2005年2月に始まり、当初は卒業して祖国へ帰る留学生に対する歓送の意味も含めて毎年2月に開催していましたが、2012年からは、秋入学の新生の参加を呼び掛ける目的で、秋の開催に変更し、今回が11回目になります。

今回は8ヶ国21名の留学生と、ボランティア、教職員合わせて39名の参加があり、留学生・ボランティアは日頃の一対一交流ペアの枠を超えて、また新入学の留学生や、交流ボランティアに関心のある見学者が一同に会し、活発な情報交換が行われました。

主催者を代表して、三井V-Net東京本部の山崎俊一事務局長が挨拶し、留学生センター副センター長 實平雅夫教授始めご臨席の先生方からご挨拶をいただきました。

後半は、ビンゴゲームを行い、ビンゴになった留学生は、ボランティア、教職員から寄付されたプレゼントを手に大喜びで、会場内は笑顔で溢れました。

当初硬い表情だった留学生も後半では、すっかり打ち解け、「楽しい!!本当に参



加して良かった」「母国語で突然話しかけて下さった時の感動は忘れない」「日本に来て間が無いが、今回を機会にボランティアとの交流を希望したい」等の感想が聞かれました。

### ボランティア活動の魅力

森 信二（三井物産OB）



筆者とミスデボラ

三井V-Net関西支部を通じて、神戸大学留学生の援助と、神戸市立博物館に於ける「学習支援交流員」としてボランティア活動を続けております。

前者は既に10年を過ぎ、後者は4年目に入りました。現役時代に海外勤務で得た経験と趣味を生かし、束縛されずに楽しい日々を送っております。留学生とは既に6ヶ国の学生と交流を経験し、何れの留学生も来日前に自国である程度の日本語を履修したとはいえ、日々その上達には驚かされます。

今は、ブラジル・サンパウロより来日している神戸大学経済学部所属の日系ブラジル人ミスケリーとペアを組んで、日本の慣わし等出来るだけ興味を持つよう面白く説明し、反面南米ブラジルの国について聞きただしております。ブラジルはポルトガル語で、聞き慣れた単語も耳にすることが出来ます。以前、ポルトガルよりの神戸大学法学部所属留学生ミスデボラとペアを組んでいる時もポルトガル語でしたので、続いてポルトガル語を耳にしております。勿論、交流は英語です。留学生の希望に従って見学し、お茶を飲み交わして世間話をするのも若返りのひとつではないでしょうか。近々、毎年開催される、神戸大学の諸先生と全留学生との交流会も、楽しみにしております。

一方、神戸市立博物館での学習支援交流員とし



人と人のまんなかに。



ミスケリーと筆者

での自由闊達な活動は、大変興味が沸き、何と言っても友人知人が多く出来ることであったり、学芸員の説明を得て留学生と一

緒に博物館の見学も出来たりと、有意義なボランティア活動を続けております。

今後共、許される限り現在のボランティア活動を続けたいと思料しています。

最後になりましたが、三井V-Net関西支部の事務局には大変御世話になっており、今後共宜しくご指導をお願い致します。

## 2014年秋の須磨海岸 クリーンアップに参加して

岡田 滋美 (活動会員)

10月5日(日)に初めて、三井V-Netが参加している須磨海岸クリーンアップを経験させていただきました。

当日は台風18号の影響で開催自体が心配されていましたが、須磨海岸近辺は、風は強く空は曇っているものの、雨は無く、午前10時から下を向いて無心にごみを拾うことに集中した2時間でした。

今回の参加者も500人を超え大変な人数でしたが、砂浜の中から思いもよらないようなごみの出現に、参加者一人ひとりがいろいろと気づきを得たようです。

残念なことに今回は前回よりもごみが多かったようで、夏の間人々を楽しませてくれた砂浜がこんな形で秋を迎えるのかと思うと、ちょっと悲しい気持ちにもなりました。須磨の海岸は古来より風光明媚な場所として人々から親しまれており、その四季折々の美しさを守るためには、今回のようなクリーン

アップ活動も勿論ですが、一番大事なことは、海岸に来た一人ひとりが何よりもごみを捨てないということです。私が拾った物の殆ど



右側 筆者



は、たばこの吸い殻やペットボトルのキャップなどで、一人ひとりが気を付ければわざわざ大掃除をしなくて済むものです。この活動は世界各国で行われているそうですが、一人でも多くの方に参加していただき、皆できれいな海岸を守る気持ちをつないで行って欲しいと思いました。今回、このような場を提供いただき、ありがとうございます。

## 子どもたちとの出会い、ふれあい、そして学び

米村 崇 (登録会員)



朝9時45分ミーティングをしている背後から、はやばやと入場をはじめた子どもたちの歓声が聞こえる。キッズプラザ大阪の「パソコンインタープリター」として毎日

数人のグループで担当するコーナー「デジタル体感ひろば アクア」は、最新のデジタル技術を、子どもたちに楽しみながら体験してもらう場所。インタープリターは直訳すれば「翻訳者」、いわば展示物と子どもたちとのつなぎ役。

仕事の都合で大阪に単身赴任して以来、妻に娘と息子の世話を任せたぶん、自分の「親スキル」を鈍らせないようにという動機ではじめたここでのボランティア。まがりなりにも身につけたデジタル世界の歩き方の心得をもって、デジタルな世界にあるわくわく感を、多様な個性をもつ子どもたちに伝えたい。



でもそれは、物事の半面にすぎないかもしれません。誰にとっても、子ども時分の親や先生以外の大人とのふれあいは重要な社会体験だったことでしょう。近所のおじさん・おばさん、児童館のお兄さん、子どもキャンプのリーダーさん等…。私がここでボランティアをしているのはそうした方々への恩返しでもあり、自分は展示物とのつなぎ役であると同時に、かくれた「展示物」のひとつと心得ています。

そんな中で、肝に銘じているのは、子どもは「未熟な大人」なのではないということ。もちろん、多人数で遊ぶとき集団としてのルールを守るよう促すことはあれ、子どもたちに「正しい」遊び方を押し付けてしまうと、子どもなりの豊かなものの見方を削いでしまう。なにしろ子どもは遊びの天才、なるべく見守り、その子らしさを発見したらできる限り「すごいね！」と言葉にするよう心がけています。

先輩のインタープリターや引率の先生、親御さんの子どもとの関わり方に感銘を受けることも本当に多く、ここは親としての貴重な学びの場であり、そして、たくさんの子どもの笑顔に癒されています。



## 四天王寺ワッソのお手伝い

伊藤 笙子 (三井住友海上OG)

1400年前というと奈良時代の前の大和時代、そう聖徳太子の時代です。

韓国、中国などの国から多くの人達が日本（まだ倭国と言われた時代です）に渡来していたのです。そしていろいろな文化（特に文字）や文物、仏教や技術などを伝えて素晴らしい国際交流が行われていました。まさにわが国の第一次ルネッサンスの時代でした。

大阪は渡来人たちから伝授された文化や技術によって産業が発達し、従来の持っていたものと融



合しさらに発展して、文化や経済そして技術革命などあらゆる面において国際交流の中心でした。

「四天王寺ワッソ」は、はるか1400年の昔に渡来した人達との国際交流を現在に再現させた歴史絵巻、毎年秋に行われる京都の「時代祭」に匹敵するものです。

11月1日、会場の難波宮跡で開催準備のお手伝いをしました。と言ってもお手伝いするほどの事もなかったのですが、多くの人達がテントを張ったり、巡行する数艘の舟を搬送したり、舞台を造営したり本当に大変な準備でした。



左側 筆者

お天気を祈りながら帰宅したのですが、翌朝早くに中止が決まり、大阪国際交流センターでの屋内開催になりました。

開催当日、ボランティア仲間の高田さんと私は9時すぎ会場に集合、出演者の皆さんの着付けのお手伝いをしました。男性のボランティアは警備の仕事がメインでしたが、屋内なのでお客さんの誘導のお手伝いです。

着付けは大学生、高校生そして一般参加の方でした。もうみなさん日々経験しているので上手に自分たちで着て、補助するだけでした。でも、それぞれの時代の衣装を箱に区別して入れたり小物のチェックや確認などで、入っているものが入っていなかったりで慌てることもありました。それでも皆さんを送り出した後、そっと会場の後ろから舞台を見せていただいて、はるか昔の歴史絵巻に思いをはせることができました。

以前、「小さなことからコツコツと」とおっしゃった方がいましたが、本当にこのような積み重ねが国と国との関係を良くしていく一歩になるのではと、改めて歴史の持つ意味や大切さを思わせる一日になりました。

来年は皆さんも一度是非、足を運んでみてください。



## 2014年 マイナビABCチャンピオンシップに参加して

黒田 眞哉 (登録会員)



2013年春に退職し、家で野菜作り、米作り、孫の相手などをして約1年が過ぎ生活のペースがつかめたころ、趣味でやっているゴルフを生かしてゴルフトーナメントのボランティアを試みようと思いつきネットを検索し三井V-Netを探しあてすぐ登録しました。

今回3日間参加して3日ともドライビングディスクスタンスの業務でした。初めての業務でどんな測り方をするのか興味があり、デジタルの電子機器で測るのかと思っていました。しかし、セミラフの両側に距離を示すラインが10ヤードごとであり、そのラインに足を合わせて1, 2, 3と歩いて測定する作業でした。JGTOの方が丁寧に教えて下さったので、2組ほど計測するとすぐに慣れてスムーズに行うことができました。ほとんどの選手が260~280ヤードの飛距離でしたが、中には300ヤードを超えていく選手もいてプロの凄さを感じました。

また、480ヤードと長いミドルホールセカンドショットを近くで見ていると、ほとんどの選手がグリーンに乗せていく正確なショットにびっくりしました。

日常では、得られない体験ができていい刺激になりました。それと、ボランティアしてみてよかったことは、その日初めて会った方と色々な話をして情報を得られることです。

朝食の時たまたま隣になった人、一緒に業務を行う人、顔見知りの人達と業務内容の事、選手の話、天気など次々と話が出てきます。時には、ゴルフに関係のない畑のイモ堀りの話、社会現象の話になることもあります。楽しみながら非日常的な時間が過ぎていきそれをボランティアみんなで共有しトーナメントを成功させていくという満足感が得られます。

表彰式後の記念写真の時、ボランティアの方々が集まりとても賑やかに楽しそうに嬉しそうに会話をし、みんな笑顔で優勝された小田龍一選手

を中心に写真に収まりました。来てよかったなあ~来年も来ると思う瞬間です。親しくなったボランティアの方とは、「また、どこかで会いましょう」と言って別れます。



皆さんも是非参加して、非日常的な刺激のある体験をしてみてくださいでしょうか？

皆さん「どこかで会いましょう」。三井V-Net関西支部の皆さんありがとうございました。

## 「2014年度大阪マラソンボランティア」に参加して

松村 圭子 (商船三井現役)

三井V-Netの皆様こんにちは！今回2014年度の大阪マラソンのボランティアに参加しましたのでご報告致します。

私は、マラソンは大の苦手ですが、お手伝いなら自分でも参加出来そうなので、三井V-Netからマラソンボランティアの募集案内があった際に、申し込みをしました。今回のボランティアの場所は、大阪城をスタートして、8.8キロ地点のチャレンジマラソンのゴール地点で、大阪市役所の北側玄関でした。チャレンジマラソン個所のボランティア内容は、完走された方にスポーツドリンクを渡したり、FINISH タオルを首から掛けてあげたり、給食のバナナ配布や最後にメダル配布等です。

ボランティアは事前にAEDの講習を受け、お揃いのボランティアジャンパーと帽子が自宅宛てに送られてきます。当日の集合時間は朝7時30分、中之島公会堂前で少々早いのですが、チャレンジマラソンのボランティアは準備から最後のごみの片付け迄でお昼位迄です。





人と人のまんなかに。

今回の三井V-Netのボランティアの場所は、FINISHタオルのコーナーでした。渡しやすいように、タオルを並べ、声掛けをしながら1人ひとりの肩にタオルを掛けていきます。声掛けは「お疲れ様でした!」「完走おめでとうございませす!」等ですが、一人ひとりに声掛けをするので、皆さんもとても嬉しそうです。

皆さん喜んだり、恥ずかしがったりと様々ですが、こちらにも「有難う～、温ったかい～」等お礼を言われたりもします。完走された皆さんは、ヘトヘトの方や余裕の方もありますが、皆さんそれはそれはとてもいい顔をされています。それと、こちらまで自分が走ったような、何故かとても嬉しい気分で、清々しい気分になります。

マラソン開催日は休みの日なので、現役でもボランティアに参加できます、是非皆さんにもお勧め致します。

私は、平日は会社があるので、その他に月に2～3回程度(1回/半日)東大阪の司馬遼太郎記念館のボランティアと、合唱団として月に1回ホームに歌を唄いに行っています。

ボランティアは定年になってからでいいかとも考えましたが、今自分の身体が元気で動くうちに、自分で出来ることから始めたいと思い2011年の東北の震災の年に三井V-Netに加入致しました。

皆様これからもどうぞ宜しくお願い致します。



団法人シニアルネサンス財団の関東SLA協会所属、松本すみ子さんが出演されました。子育てを終え自由時間を地域に貢献したい女性、退職してこれからの人生を有意義に過ごすことを考えている男性が、地域デビューすることに役立つ情報を共に考えるといった内容でした。



私は4年前、シニアルネサンス財団の養成講座を受講し資格を取得。シニアライフアドバイザーとして、春秋に全国一斉に実施の「シニアの悩み110番」の相談のボランティアをしています。現代の家族のあまりにも急な変化に、とまどいながら誰にも相談出来ない人達。一人暮らし、高齢者夫婦、シングルの子と同居する高齢者世帯が増え続けているのが現状です。

私達は元気なうちに家族や地域との関係を組み直し、ケアが必要になる日のために情報を集め、周りの人との絆を大切に紡いでいかなければなりません。地域活動を是非したいと思い6月、町内会の会報で「エキキタおながフェスタ2014」が今回実施されることを知り、早速実行委員会に連絡をし、委員のメンバーに加えて貰うこととなりました。広島駅新幹線口=エキキタは中国地方の癌治療の最先端の癌センターや高層マンションが建ち、将来に向けて活気とエネルギーに満ちた地域になります。7月27日尾長中学校の校庭を舞台にして、延べ8000人の人が祭りに参加されました。

私は朝9時から夕方5時まで、飲み物の販売の担当でしたが、今迄は全くご縁の無かった素敵な方々と親しくなることが出来、楽しく感謝あふれる至福の一日でした。

## NPO法人ひろしま人と樹の会について

ひろしま人と樹の会  
事務局長 櫻井 充弘

### 中国支部(広島)

#### 第1回エキキタおながフェスタに参加して

二條 未鈴(登録会員)

一昨年12月、NHK「クローズアップ現代」で団塊世代の地域デビューの特集が放映されました。ご覧になられた方もあるかと思いますが、財

ひろしま人と樹の会(森に入り、人と木が楽しく(一時)触れ合える会)は、1992年5月に誕生、森で活動しながら森林保全について考えることをモチーフに、主に広島県内の会員





クマと共生する環境づくり 柿もぎ 都市と山村交流集合写真

で構成した「机上の理論よりも、自ら体を動かす」活動を実践する森林ボランティア団体です。2013年8月にNPO法人となりました。

森を育てる、人を育てる、ボランティア精神を育てることを会の目的として、国内で初めて松枯損木の伐採にボランティアとして本格的に取り組み、松林保全のための松くい虫防除対策の必要性の普及啓発や環境保護団体を巻き込んだ実践活動を行っています。それ以外にも人工林の手入れの間伐、枝打ち、下草刈り、炭焼きなどの活動や企業や漁業関係者、労働組合などの他団体と協働したイベント的な造林活動を行い、育林普及活動を積極的に取り組んでいます。その活動は、平成25年3月末までに延べ453回（参加者19000人余）となりました。

専門的な知識・技術を基に、松枯損木の伐採整理、里山の手入れ、管理不十分なスギ、ヒノキ林の森林施業など健全な森林づくりに寄与するとともに、会員は主婦や会社員といった市民、行政関係者、森林業者であり、会員の能力に合わせ、技術のある人が危険な伐採作業、その他の人が伐採木の整理など分担して活動しています。また、チェーンソーの使い方や森林の手入れの方法など研修を行い会員の技術向上にも努め、広島県内各地を中心に各種の森林ボランティア活動を展開し、山村と都市との地域間交流を図ると共に山の緑の再生や森林の大切さについて普及啓発し、森林ボランティアの先駆けとして多種多様な取組活動や県内の他の森林ボランティア団体設立に積極的に関与し貢献しています。

（三井V-Net中国支部は設立当初よりNPO法人ひろしま人と樹の会の色々な森林ボランティア活動に参加させて頂いております。）

## 広島平和公園の清掃活動に参加して

上杉 勝彦（東芝プラントシステム現役）



右側 筆者

三井V-Net中国支部に会員登録してかなり経過していましたが、気軽にできることから始めようと思い、この6月から広島平和公園の清掃ボランティア活動に参加しています。初参加の時は、清掃活動とはいいながらどんな人たちとどのようにやるのか心配でしたが、事務局の方を含め皆様に笑顔で迎えられ、ひと安心しました。

初参加の日は、事務局の佐々木さんにごみ拾いをともにさせていただき、私は歩道周辺のたばこの吸い殻や、空き缶を主に集めていましたが、佐々木さんは公園にたくさん植えられているツツジの茂みの中にあるごみをいとも簡単に見つけ出していました。何事も経験を積むと見えないものも見えてくるのだと感心しました。また、参加者にはボランティアに関心を持って実践している大学生を含め若者たちが多くを知ったのも私にとって新たな発見でした。世界遺産に登録されている原爆ドーム、平和公園を塵ひとつない公園への思いで、公園の木々の四季折々の色を楽しみ季節を肌で感じながら今後も参加しようと思っています。

## 広島市郷土資料館 駄菓子作り広場のボランティア活動について

中国支部事務局



毎年11月3日の文化の日は広島市郷土資料館主催で駄菓子作り広場が催され、広島市民へ資料館が1日無料開放される一大イベントとなっています。広島市郷土資料館は、広島に関する資料の収集、保管、展示がされており、常設展では広島の伝統的地場産業である牡蠣、海苔養殖、山繭、太田川の舟運などについて現物資料やパネルで紹介されていま



す。また広島<sup>の</sup>歴史、文化に関する様々なテーマで企画され展示されます。



三井V-Net中国支部は支部開設以来2007年から継続してこのボランティアに参加し8回目で、今年は新たに会員登録頂いた鈴峯女子短大生の4人が加わり総勢9人の参加となりました。

当日は秋晴れの暖かい天気<sup>に</sup>恵まれ大勢の親子連れの来場者がありどのブースも長い列ができました。三井V-Netのメンバーは綿菓子、カルメラ焼き、あったかわらびもち、一銭洋食のブースのお手伝いをしました。休憩を取りながらの対応でしたが、朝10時から16時頃まで列が絶えることなく、あったかわらびもち作りは用意された先着800人分を消化しどのブースも材料もなくなるまで提供されました。立ち作業も多く午後は幾分疲れがでましたが、昔懐かしい味を初めて口にした親子も多く色々なブースの食べ歩きに笑顔がこぼれ楽しんで



姿をみて、お手伝いしている方も時間を忘れあつという間に過ぎた1日でした。

## 事務局便り

### 2014年 一木会例会の行事報告

東京本部事務局

三井V-Netのボランティア会員が集う一木会例会は1、4、7、10月に開催しています。

例会では事務局報告、各部会報告、講演を行い、終了後の親睦会では会員同士の情報交換を行い友好を深めています。2014年の一木会例会の概要は次のとおりです。

#### 【1月例会：1月9日 三井物産ビル】

- ・團野理事長挨拶、事務局報告
- ・駒大部会活動報告：世話人鈴木徹夫氏より報告。

平成12年4月発足、会員は16名。2013

年の一対一交流の交換留学生は14名。留学生と会員との顔合せ会、富士山日帰りバスツアー、生田緑地でのほたる狩り、歌舞伎鑑賞教室、能楽鑑賞、生田緑地民家園見学、文楽鑑賞、お別れ会ランチ会を実施。

#### ・講演

講師：宮田隆志氏  
 東京大学大学院 理学系  
 研究科 天文学教育研究  
 センター准教授



#### 講演テーマ・概要

世界最高標高（5640m）、世界最高水準（口径6.5m）の望遠鏡～東京大学アカカマ天文台（チリ・アンデス山脈）での宇宙観測～宇宙のどこから、どのようなものが地球に来たのか。海の水は宇宙からもやってきた、生命の材料はどこから来たのか、元素はどこで生まれたのか、という話から始まりました。続いて望遠鏡の話となり、チリ・アンデス山脈の標高5640mでの観測は赤外線透明度が極めて良く、世界一の観測が可能。2001年から望遠鏡建設を開始し、2009年に直径1mのMini Tao望遠鏡が完成（ギネスに世界一高い望遠鏡認定）。2014年から直径6.5mの大型望遠鏡の建設開始、2017年完成予定。

#### 【4月例会：4月24日 商船三井ビル】

- ・事務局報告：三井V-Net運営会員に三井住友建設(株)、太平洋セメント(株)の二社が復会、三井石油(株)が退会し、4月1日現在の運営会員会社は25社となりました。

一橋大学では平成24年8月から活動を開始し4月に一橋大学部会を設立。

- ・湘南部会活動報告：世話人の石渡戸征治氏より報告。

平成12年設置、会員数92名。大磯町のエリザベス・サンダース・ホームでの清掃等を隔月実施。

チャリティーコンサート、竹とんぼ教室、夏休み木工教室、鎌倉での海・山のクリーンアップなど。

#### ・講演

講師：都市プランナー箕原敬氏



## 講演テーマ

「日本の都市計画に半世紀関わって・・・  
今、銀座と十津川の  
現場から眺める」

自ら携わった「奈良  
県十津川村での高齢化  
社会での村おこし」、  
「銀座の街づくりのア  
ドバイザー」、日本の都市計画は何をやっ  
てきたか、今後の都市計画に関する講演。  
日本の都市の原風景である「森林⇒水田⇒  
里山」という自然と人間の活動を忘れず  
、これからは「超高層ビルに住む、道路は  
拡げる」だけでなく都市をどう考えてい  
くかが大事で、時代の変化とともに、成  
長から成熟へ、ストックからフローに変  
化する必要がある。



～従業員参加型ボランティアの展開～  
三井住友銀行のボランティア活動に  
関する現状から始まり、役職員参加  
型のボランティアが活発になっている。

## 【10月例会：10月23日 商船三井ビル】

1. 事務局報告：武内幹事が任期満了に伴い9  
月末をもって幹事退任の報告がありました。

### 2. 活動報告

#### ①一橋大学部会

世話人の宮崎清氏より報告。

昨年4月に部会が発足し9月末で会  
員は14名となり一対一交流を行って  
います。8月7日には味の素川崎工  
場見学会を開催し15名が参加しま  
した。大学のキャリア支援室が窓口  
となり活動を行っています。

#### ②医療ボランティア分野

世話人の神崎星五子氏より報告。

活動先の病院では22名が活動して  
おりますが、そこではボランティアが  
なくてはならない存在であり、全  
員が誇りをもって活動しています。

10月1日に12名が参加して初め  
て合同懇談会を開催し、情報交換、  
病院で使う英会話の勉強を行いました。  
活動会員数が少ないため会員増加  
の取り組みを行っています。

## 【7月例会：7月3日 東芝ビル】

・事務局報告：6月26日三井V-Net  
理事会開催、5月10日三井V-Net  
古民家見学会の報告。

・日本語サロン活動報告：世話人の  
武内克彦氏より報告。

地道な活動を継続し、現在は4人  
が勉強中。全員留学生ないし日本  
で勤務する方の夫人で日本語検  
定を目指している方も多し。毎月  
第1、3、4火曜日の午後三井V-  
Net会議室で開催。

### ・講演

「わが社の社会貢献活動」と題して  
運営会員会社2社が講演。

#### (1) 三井物産株式会社

小黑和昭様

テーマ「三井物産の社会  
貢献活動のご紹介」



～国際交流・教育・環境分野を  
中心に～  
三井物産における社会貢献活動に  
関する説明および8分野に亘る活  
動プログラムの説明。

#### (2) 三井住友銀行

末廣孝信様

テーマ「S M B Cの社会  
貢献活動」



### 3. 講演

公益財団法人国際センターの  
富田直樹氏より「ダ  
ルニー奨学金とタイ・ラオ  
ス・カンボジアの子ども  
たちの現状」というテーマ  
で講演がありました。

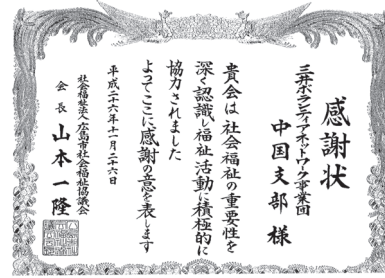




民際センターは1987年に設立し、ダルニー奨学金は現在会員数約6000人の支援によりタイ、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナムの子どもたちに一人年間14,400円を一对一で支援を行なっていることや、世界の子どもたちの現状、タイ、ラオスの現状や背景についての解説がありました。

なお、当日はダルニー奨学金への寄付が26,600円集まりました。

## 中国支部が広島市社会福祉協議会 会長表彰を受賞



昨年11月26日広島市のアステールプラザにて開催された広島市社会福祉大会において中国支部は広島市社会福祉協議会

会長表彰を受賞しました。中国支部開設以来8年間広島市ボランティア情報センターを介してひろしまフラワーフェスティバル、平和記念式典での車いす介助の他色々な福祉活動に会員皆様にご参加頂き継続できたことに対する評価だと思います。これからも福祉活動は中国支部の活動の要として携わっていきたくと思いますので引き続きよろしくお祈いします。

## 物品ご提供による支援のお願い

三井V-Netでは下記の物品を随時収集しております。

集まった品々は年末に一年分を取りまとめ提携先団体を経由して換金のうえ、東南アジア僻地の子どもたちの中学就学やインドでの女性の生活向上と農業プロジェクトおよびインドネシアにおける給水・農業の技術指導など各事業の支援に役立てています。

支援金のもととなる物品につきましては、ボランティア会員に限らず広く一般の皆様からのご提供もたいへんありがたく、お知り合いにもお声をかけていただければたいへん幸甚でございます。ご協力を心よりお待ちしております。

### ご提供いただきたい物品

- 未使用はがき・書き損じはがき
- 未使用切手・使用済み切手
- 使用済みプリペイドカード
- 使用済み(純正)インクカートリッジ



### ご提供品送付先

三井ボランティアネットワーク事業団の本部  
もしくは各支部あて

- 本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3F  
TEL: 03-5570-2181 FAX: 03-5570-8035
- 関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4F  
TEL: 06-4396-8680 FAX: 06-4396-8681
- 中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5F  
TEL/FAX: 082-222-5101

# 三井ボランティアネットワーク事業団 (三井V-Net) 皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ有志各社の協力を得て、1996年に設立されました。主として三井グループ企業出身のシニア層のボランティア活動を推進し、豊かで健康な生きがいを感じられるように支援を行い、以て三井グループ全体の社会貢献とすることを主たる目的としています。ボランティア活動会員登録には入会金および年会費等は不要です。

<b>ボランティア活動会員登録票</b>		(関東地域) 03-5570-8035 FAX (関西地域) 06-4396-8681 (中国地域) 082-222-5101	
三井ボランティアネットワーク事業団(三井V-Net) 御中 貴事業団を通じたボランティア活動への参加を申込みます。			
		記入日 20 年 月 日	
氏名	(フリガナ)	生年月日	19 年 月 日
		性別	[ ]男 ・ [ ]女
住所	郵便番号 -		
自宅電話番号	-	-	
自宅FAX番号	-	-	
携帯電話番号	-	-	
E-Mail Address			
出身企業			
以下の活動についてご希望される項目に○印を入れて下さい(複数可)			
希望する ボランティア	① [ ] 国際交流(留学生と日本語を通じての交流・文書作成の支援等)		
	② [ ] 環境保全(河川敷・海岸等の掃除、水源林地域保全活動)		
	③ [ ] 医療(病院外来の案内・図書整理・演奏活動等)		
	④ [ ] 福祉(福祉施設内の草刈・掃除、福祉団体主催イベントでの手伝い等)		
	⑤ [ ] 文化・教育(文化施設での手伝い、アジアの児童の奨学金支援)		
会員登録の動機について該当項目に○印を入れて下さい(複数可)			
[ ] 出身企業の紹介	[ ] ホームページを見て	[ ] ニュースレターを見て	
[ ] 知人の紹介	[ ] その他( )		

上記入手の個人情報は、個人情報保護法の方針に従って厳重に管理し、ボランティア活動に必要な範囲内に限り使用させていただきます。

## 三井ボランティアネットワーク事業団

本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3階  
TEL:03-5570-2181 FAX:03-5570-8035

関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4階  
TEL:06-4396-8680 FAX:06-4396-8681

中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5階  
TEL:082-222-5101 FAX:082-222-5101

ホームページからも登録していただけます。 <http://www.mv-net.com/>